

2019年8月25日(日)、「第6回 豊橋ふれあい親子ペア将棋大会」を開催しました。

今回24組のペア参加（前回は32組の定員に達した）。参加者ペアは県内 豊橋市12組、豊川市3組、名古屋市2組、一宮市、日進市、東郷町、東海市、岡崎市から各1組、県外静岡県浜松市、長野県飯田市から各1組の内訳でした。

午前はA～F各組4ペアの6組に分かれて総当たりによる予選リーグを行い、午後は二つの山に振り分けて24組のうち、決勝トーナメントは16ペア、敗者トーナメントは8ペアで戦いました。各組1、2位は自動的に決勝トーナメントに進出し、各組3位のなかから成績上位ペア4組を選出して決勝トーナメント戦を行いました。

予選リーグでは、両者秒読みに追われる熱戦となった好局が数々見られ、競り合いで最後の最後まで勝負の決着が不明の一進一退の攻防が繰り広げられ、審判員やギャラリーが固唾を飲んで見守る場面もありました。戦いが終わった後は、両者はお互いが汗をかきあった相手の健闘を仲良く讃えあう風景が随所に見られました。決勝トーナメントでは、ベスト16で1位通過の2ペアが初戦敗退、ベスト8は前回3位の榎田ペアが勢いに乗って勝ち進み、決勝まで駒を進めました。片やもう一方の山で、前回準優勝の山村ペアは白木ペアに敗れる波乱がありました。勝った白木ペアは第4回大会で敗者トーナメント優勝（豊橋市長賞）実績からメキメキ力をつけて今回勝者トーナメントを勝ち上がり決勝進出を果たしました。

決勝戦は恒例となったステージ上での対局です。例年杉本昌隆八段をお呼びして大盤解説をお願いしていましたが、今回は名代として弟子の中澤沙耶女流初段による解説です。

榎田ペアと白木ペアの決勝戦は振り駒の結果、榎田ペアの先手番となり15時20分に対局を開始しました。戦型は居飛車対振り飛車の対抗型になりました。後手が四間飛車に振って美濃囲いに組み、先手は船囲いにしてから右四間飛車としました。

序盤の駒組みが終わった後、29手目に先手が仕掛けて開戦。急戦形の攻め合いとなり、飛車を取り合いました。両ペアは互いに敵陣に手持ちの飛車を打ち込み、徐々に形勢は先手優勢から後手優勢に移っていきました。先手は後手玉付近へ果敢に攻め入り、打った飛車を切ってここから一気に終盤に入りました。この局面で、後手が先手の攻めを切らして、受け切ってしまうと、駒得の後手が勝勢になる場面が訪れました。持ち時間15分。その後一手30秒の秒読みの残り時間1分まで、この重要な局面で両ペア長考して時間を使います。後手は受けを間違えれば形勢は逆転するという展開となりました。その後の数手の折衝で迫力ある先手のギリギリの寄せの前に後手玉が、受けなしに追い込まれて投了。61手で、先手が勝利を収めました。榎田ペアの初優勝。おめでとうございます。白木ペアもう一歩のところまで惜しかったです。場内の観衆も大熱戦に一応の感動を覚えたように見えました。

成績結果

決勝トーナメント

優勝	準優勝	3位
櫛田 征志・明裕 ペア 名古屋市立なごや小学校 3年	白木 達也・貴司 ペア 豊橋市立高師台中学 3年	小田 彰吾・哲士 ペア 東海市立渡内小学校 6年

敗者トーナメント

豊橋市長賞 1位	教育委員会賞 2位	3位
丸一 健悟・一悟 ペア 浜松日体中学 1年	矢崎 徳一朗・勇夫 ペア 名古屋市立辻小学校 1年	猿渡 敦士・和良 ペア 豊橋市立松山小学校 6年

来年も開催予定です。ありがとうございました。

